



No. 100
2026年
2月15日

日本バプテスト同盟
内海部会・瀬戸内海伝道団
委員長：トゥン・カン・クップ
731-0101 広島市安佐南区八木
3-5-17-10
広島平和キリスト教会内

巻頭メッセージ

「百年の航海」

広島平和キリスト教会 牧師 トゥン・カン・クップ



福音丸新報が100号の節目を迎えるこの年、巻頭言を任されることは、私にとって大きな恵みであり、責任でもあります。百年前、瀬戸内海に一隻の船が現れました。その名は「福音丸」。船長はアメリカから来たバプテスト宣教師、ルーク・ワシントン・ビッケル。彼は帆を張り、波を越え、島々に福音を届けるために命をかけました。

ビッケル船長の働きは、単なる宣教ではありませんでした。彼は「動く教会」としての福音丸

を造り、島民と共に暮らし、祈り、賛美し、時には迫害にも耐えながら、信仰の種を蒔きました。小豆島、因島、瀬戸田、大三島、周防大島など、瀬戸内の島々を巡りながら、彼は「福音は岸边にとどまらず、波を越えて届くものだ」と身をもって示しました。

その働きの実りとして、1909年には「福音丸浸礼基督教会」が設立されました。船の上で礼拝を捧げ、バプテスマを施し、信徒を育てる。まさに、船そのものが教会であり、希望の灯台でした。その後も福音丸は改造・建造を重ね、1982年まで伝道の航海を続けました。

私自身、この内海の地に遣わされて15年。向島キリスト教会での7年間、新会堂の完成は、まさに「福音を運ぶ器」を築く旅でした。広島平和キリスト教会での9年目を迎える今、来年から新たな地へと導かれる

ことになりました。

この15年の間に、4人の子どもが与えられ、一番下は今5歳。家族と共に歩んだこの地で、瀬戸田バプテスト教会、中島集会所、小豆島教会、土生教会、安下庄教会などで説教の奉仕をさせていただきました。それぞれの場所に出会った方々の祈りと信仰に、私は何度も励まされました。

ビッケル船長のように、私たちも「福音を運ぶ者」として、地域に根ざし、出会いを大切にしながら、主の愛を分かち合う者でありたいと願います。彼の働きは、今も私たちの教会の姿勢に息づいています。福音丸はもう海を渡ってはいませんが、その精神は、私たちの足元にある小さな集会所、礼拝堂、女性会、家庭訪問、子どもたちとの交わりの中に生きています。

聖書にはこうあります。

エフェソ 2:8 「事実、あなたがたは、恵みにより、信仰によって救われました。このことは、自らの力によるのではなく、神の賜物です。」

Ⅱテモテ 4:2 「みことばを宣べ伝えなさい。時が良くても悪くてもしっかりとやりなさい。忍耐の限りを尽くし、絶えず教えながら、責め、戒め、また勧めなさい。」

Ⅰコリント 15:58 「わたしの愛する兄弟たち、こういうわけですから、動かされないようにしっかりと立ち、主の業に常に励みなさい。主に結ばれているならば自分たちの苦勞が決して無駄にならないことを、あなたがたは知っているはずですよ。」

これらの言葉は、百年の航海を振り返る私たちに、そしてこれからの百年を担う次の世代に向けた励ましです。ビッケル船長の足跡をたどるように、私たちもまた、福音の波を起こす者として、日々の生活の中で主に仕えていきましょう。

百年の航海は、次の世代へのバトンです。私たち一人ひとりが「小さな福音丸」として、主の愛を乗せて進んでいくとき、瀬戸内の海にも、世界の果てにも、福音の光は届いていくのです。

定期総会(2025/4/29)

2025年4月29日に向島キリスト教会にて内海部会の定期総会が、代員11名、委任3名、陪席4名で行われました。

主題聖句は、ローマ12:1bとし「神に喜ばれる礼拝」を主題としました。

予算の大幅な見直し、瀬戸内海伝道団内規の改正が行われ、部会委員の改選が行われ、クップ師が委員長となりました。(向島 綿谷 剛)



内海部会行事報告

女性会報告

女性会長 榎原直美

現在4教会に28名の会員がいます。一人当たり年間1,000円の分担金で運営されています。なかなか会うことが難しいため、あまりたくさんの活動ができていません。私は会長になって2年目になります。コロナ

禍の時にはほとんど集まれなかったのですが、対面で年に一度は会う機会を作ることに重点を置いてやってきました。昨年度は小豆島教会、今年度は瀬戸田教会原集会所に集まりました。また12月には各教会女性会にクリスマスカードを送りました。

事務的な作業を少なくするために、オンラインを活用しています。今後もやり方を工夫しながら進めていきたいです。支えられるように祈ってください。

教師会報告

教師会幹事 中川純良

2025年の教師会は、すべてリモートによって行いました。各教師持ち回りによるメッセージ、それぞれの働きや教会の近況について分かち合い、祈りのときを持ちました。

10月には、関西部会との講壇交換が行われ、内海部会からは教師3名が関西へ赴き、関西からは4つの

教会で受け入れました。その様子について教師会にて恵みの分かち合いをさせていただきました。部会規模が大きく異なるため、関西部会に多くを担っていただくこととなりましたが、ご奉仕してくださったお一人おひとりの上に、主なる神様からの祝福が豊かにありますよう祈ります。

4月から教師会は新しい体制となります。教師会の歩みが主に導かれるようお祈りください。

関東学院六浦中高ボランティア(2025/8/17-18)

8月17～20日、関東学院六浦高校の生徒10名が肥田信長先生の引率で、向島・因島ボランティアキャンプとして、内海に来られました。

8月17日には向島教会で、会堂と牧師館の床掃除と庭の草取り等の奉仕と、向島捕虜収容所に関する平和学習を行い、教会員と楽しい交わりの時を持ちました。また、18日には、因島の田熊認定こども園でボ

ランティア作業を行った後、大久野島毒ガス資料館に行かれ、19日は呉の大和ミュージアム/てつのくじら館を見学されたのち、広島に行かれ、旧陸軍被服支廠、袋町国民学校跡(被爆小学校)を見学、20日は原爆ドーム～島病院、学徒動員慰霊塔、原爆の子の像、原爆死没者慰霊碑、平和祈念資料館等の見学や被爆体験者のお話を聞き、平和学習をされました。



高校生の皆さんにとって、とても良い経験になったと思います。内海部会の教会として、協力させていただいたことを感謝します。(綿谷剛)



講壇交換(2025/10/12)

2025年度は初めての試みとして、10月12日に関西・内海部会講壇交換を行いました。

【瀬戸田バプテスト教会】

講壇：田口望師(我孫子バプテスト教会)

報告：三國郁子

2025年10月12日我孫子教会より田口望牧師をお招きして礼拝を守りました。その日、初めて瀬戸田教会に来られた方がいて、田口牧師の柔らかい関西弁、分かりやすいお話に心打たれ、やっと自分の求める教会が見つかったという嬉しい気持ちで涙が溢れたそうです。また、石塚多美子牧師にも心を開き、その後、礼拝や集会等に繋がることができています。私自身、島内や大三島の祈りのテラス等をご案内する中で、田口先生との交わりの時を神さまからいただくことが出来ました。田口先生、子ども礼拝に間に合うよう早朝



より大阪を出発して下さり本当にありがとうございました。関西部会のみなさまとの繋がりも心より感謝いたします。

【土生バプテスト教会】

講壇：丸茂誠師(曾根キリスト教会)
報告：林原弘

ヨハネによる福音書 1章 1節～5節
丸茂誠牧師は礼拝説教の前に自己紹介をされた。約25年昔 関東学院大学六浦中学・高校在学中時代に土生バプテスト教会にボランティア活動に来訪されたお話をされた。引率教師は大井人先生で内海部会の諸教会を再三来訪され、今回その中の中学・高校生(丸茂誠先生)が献身された意味は大きい。日本バプテスト同盟の教師として働かれていることに感謝した。関東学院大学は、故海老坪眞牧師、阪井隆牧師から創立者坂田佑初代院長の書物を頂き、1919年に関東学院大学を設立し坂田佑初代院長の教育理念は「人になれ、奉仕せよ」であること知る。



【向島キリスト教会】

講壇：金井望師(門真キリスト教会)
報告：水戸川佳子

関西・内海部会講壇交換で、向島キリスト教会に門真キリスト教会の金井望先生が「恐れるな、語り続けよ」という題でメッセージをしてくださいました。体格がよく声の大きい先生のメッセージは題に負けない迫力のあるもので、話に引き込まれていきました。使徒言行録 18章 1～18節から、庶民であるファリサイ派の手に職をつけるという習慣に習って、自身もテント職人として働きながら宣教活動をしていたパウロの話を用いて、金井先生ご自身も仕事と牧師の二足わらじの信仰生活を送る様子を語ってくださいました。

礼拝後のお茶の会では、召命に関するクリスチャンの大学生からの質問に対して、ご自分の体験と信仰を熱く語ってくださいました。また、今、神学校のズームでの学びをしている私には先生のまとめられた「バプテスト教会の歴史と信仰」を紹介して下さり、キリスト教史の授業の参考にさせていただいています。恵まれた講壇交換の1日となりました。



【広島平和キリスト教会】

講壇：松村光司師(池田・北豊中バプテスト教会)
報告：鶴野早葉子

私たちの教会では、関西内海部会交換講壇に池田バプテスト教会から松村先生をお迎えして「人間らしさを取り戻す」と題して説教がありました。パウロが裁判を受けるためにローマへ向かう船の中での奇跡を通して、パウロがいつも神様は何を願っているかという事を祈り求めていました。ローマに行く事も神の御心だと信じていましたので、嵐の中にあっても生きてローマに到達できると神様の言葉を信じて皆で食事をすることを提案し食事をしました。神様に与えられた命に感謝するための食事、そして生きのびるために必要な食事でした。私達は人種、身分、仕事、価値観一人一人違います。しかし神は皆同じだと言われます。パウロの食事は神から与えられた食事でした。その食事をとる事で、人間らしさを取りもどしたのです。先生はメッセージを通して神様は人間としての命を私達に与えられているという事、そして神の愛によって人間らしく生きるとお話されました。パウロの信仰から神に祈り信じ、御心を求めていこうと思っています。



【我孫子バプテスト教会】

トウン・カン・クップ師(広島平和キリスト教会)

10月12日の関西・内海講壇交換で、念願だった我孫子バプテスト教会を訪問でき、とても嬉しく思いました。新しい会堂は美しく、讚美を愛する教会員が多く礼拝も盛り上がりました。礼拝後は昼食を共にし、作詞作曲家やマンマー経験者の方々との交わりを通して、讚美や宣教の話で大いに恵まれました。また、信者減少の原因について問われ、「福音理解の問題でしょう。罪の赦しと永遠の命を心から理解すれば、喜びから自然に伝道が生まれるのです」と答えました。今回の訪問を通して、信仰の交わりと学びの恵みを豊かにいただきました。(トウン・カン・クップ)



【門真キリスト教会】

石塚多美子師(瀬戸田バプテスト教会)

朝一番の船で三原に出でから、一路大阪へ。関西部会の先生方とどこかですれ違いかしら？と思ひながら、反対側の路線を眺めていました。新大阪から門真キリスト教会に行く道は初めてですので、どきどきしましたが、駅前の商店街を抜け、住所を便りに通りがかりの人に聞きつつ、教会にたどり着いたとき、まだ9時半でした。お一人の方が教会の前の道をほうきで掃除されていましたが、その方が、瀬戸田バプテスト教会で牧師としてご奉仕されていた臼井嘉男師のお兄様であることにまず驚きました。初めての場所でしたが、とても懐かしくあたたかい気持ちになりました。当日の礼拝は、7名。司会は、金井瑠花さんでした。丁寧でしっかりとしたリードに、心が落ち着きました。小さな礼拝堂でしたが、瀬戸田バプテスト教会と同じような雰囲気です。礼拝後の交わりの中で、今礼拝を捧げているお一人お一人がこの教会に導かれた証しを聞きながら、この地に金井牧師が派遣されたことの大きさを実感しました。牧師がいて礼拝をし、祈禱会をし、その毎週の営みを滞りなく続けられることのありがたさと喜びを求めて、みなさまが集われていることに神さまのお計らいを感じずにはいられませんでした。昼食の際に、みかんを買っているということを知り、驚いたので、今度瀬戸田からいただいたみかんをたくさん送ります！！とお声がけしました。帰り道、朝から気になっていた、かりんとまんじゅうを売っている老舗の和菓子屋さんでお茶をしてから、島に戻りました。神学校の研修旅行で、



私はここを訪れていなかったもので、今回行くことができてうれしくなりました。ともに礼拝を捧げた方々と、主にあつて心の距離が一気に近くなったようで恵まれました。(石塚多美子)

【池田バプテスト教会】

大谷孝志師(向島キリスト教会)

1982年、36歳で池田バプテスト教会に赴任し、10年間奉仕いたしました。当時は毎年のように受浸者が与えられ、CS、青年会、女性会、壮年会がそれぞれ活発に活動しており、教会全体が生き生きとしていました。今回は関西内海講壇交換で招かれ、妻と共に伺いました。高齢での長距離運転を心配しつつ出発しましたが、道に迷って到着が20分遅れてしまいました。それでも皆さんが笑顔で温かく迎えてくださり、感謝の気持ちでいっぱいになりました。新しくなった会堂での礼拝では、30年ぶりにお会いする方々や初めてお会いする方々もおられ、礼拝後の昼食会では中学の同窓会のような懐かしい語らいの時となりました。かつて私が週報や説教原稿を届けていた婦人が今も教会に定着していることや、当時高校生だった青年が役員としてご夫妻で奉仕しておられることを知り、大きな喜びを覚えました。また、当時の青年たちとの思い出話にも花が咲き、「良きにつけ悪きにつけご指導を受けました」と笑顔で語ってくれた言葉に胸が熱くなりました。最後に教会と皆さんの祝福をお祈りし、妻と共に感謝のうちに帰途につきました。(大谷孝志)



女性会 原集会所問安(2025/11/8)

11月8日、問安で瀬戸田教会の原集会所を訪れました。絶好のドライブ日和の中、十四人のメンバーが集まりました。ピザ窯でデザートピザ(チョコバナナ、柿クリームチーズ)を焼いて昼食と共に食べ、礼拝と交わりの時を持ちました。

交わりでは、出エジプト記4:10~16を読み、「自信」や「自分にとって『壁』だと感じていること」について自由に語ってもらいました。普段会ってないことが嘘のように、たくさんお話しできて本当に良かったです。帰りには柿とレモンのお土産をたくさんいただいて感謝でした。私は時に自分の足りない点ばかりが目について落ち込みますが、だれもが信仰生活を続ける上で悩んだり迷ったりしておられることが分かり、

励まされた心地になりました。みなさんありがとう。またお会いしましょう。(櫃原直美)



特集：福音丸新報第100号によせて

本号で福音丸新報100号となります。これまで、福音丸伝道や内海での開拓伝道に関わられた方々に当

時の思い出を語っていただきました。

福音丸と祖母 荒川深美

高槻バプテスト教会 荒川貞雄

70年前の私の少年時代のことなので、「瀬戸内海伝道百年記念誌」や中本仁一牧師の「福音丸と私」で確認しながら古い記憶を探ります。

祖母 荒川深美は一晩のうちに二人の娘を疫痢で失いました。また牧師であった主人とワケあって

離婚するという若くして二つの悲劇を経験しました。その後、もっと聖書を勉強したいと思い立ち、二人の子供を抱えて大阪の十三（現在の大阪親愛教会一帯）にあった全寮制の女子神学校に入学した気丈な女性でした。すでに38歳になっていましたが、若い女性たちと3年間学んだ後、1923年（大正12年）に重井教会へ赴任しました。重井教会と幼稚園をはじめ瀬戸内海伝道のために15年間働きました。幼稚園の教え子であり、成人するまで親交のあった柏原学氏は苦学の末リングコーン（産業機械に使われている無段変速機）を発明し、京都で創業して成功したことは祖母の自慢であり、その話をよく聞かされました。

私の誕生を機に祖母は重井教会を辞し、向島へ移りました。父母は小学校の教師をしていたので、私をあたまたに4人の兄弟の世話をしたのは主に祖母でした。私たちが成長すると、集落の子供たちのために日曜学校をしようと考えました。そこで、当時向島町長をしていたお寺の住職（佐々木ぼんじょう氏）のところに行って集落の中にある金毘羅さんの部屋を日曜学校のために使わせてほしいとお願いし、了承を得たのでした。お寺と金毘羅さんとキリスト教という面白い組み合わせが実現しました。こうして始まった日曜学校に、後述する小野一良牧師、ブラネン宣教師、ゲーノ宣教師などの支援が加わり向島教会へと発展していきました。

「白鳥が浮かんでいるようだった。」実際に福音丸（二造）を見た父の話です。全長40メートルで2本マストの真っ白い福音丸が浮かぶ景色はさぞ素晴らしいものだったでしょう。しかし、1917年（大正6年）にビッケル船長が病死して以降、後継船長の問題や社会情勢の悪化などで福音丸の運航が難しくなっ行き、遂に1929年（昭和4年）に売却されてしまいました。

それから20年がたち、第二次世界大戦も終わった1950年（昭和25年）ごろになると、福音丸の売却金をもとにした瀬戸内海伝道再開の気運が起り、土生教会の鈴木正弘牧師を中心に検討が進められました。

中本牧師の「福音丸と私」の中に、検討中に一人の役員が去ったとありますが、それは荒川深美の娘婿村上正（まさる）氏でした。叔父は二隻の機帆船を持ち海運業を営む事業家でした。福音丸に搭載するエンジンについて検討会のメンバーと意見が合わなかったのです。予算が足りなかったのでしょうか、中古の焼玉エンジンを載せることになってしまいました。やがて焼玉エンジンはすたれ、ディーゼルエンジンに変わっていくことを叔父は読んでいたのです。試運転時の写真を見ても黒煙を吐いており、調子が悪いことがうかがえます。

案の定、エンジンの故障で福音丸が動けず、会の延期や中止が度々あったことを記憶しています。新しい革袋に賞味期限切れの葡萄酒を入れるような残念な結果になりました。

福音丸（三造）を建造するにあたって、祖母はある総会に出席して瀬戸内海伝道の現状を訴え、「福音丸専任の伝道者を送ってください」とお願いしました。祖母は小柄な人だったので、テーブルの上に立って話したということです。これに応じて派遣されたのが小野一良牧師でした。

安下庄か中島からの帰途に時化（しげ）にあい進路が分からなくなった時、一匹の蝶が福音丸の前方を飛んで先導し、御手洗（みたらい）港に入ったところでエンジンが止まり命拾いしたという小野牧師の話は、この福音丸での出来事でした。

この当時は夏休みになると瀬戸内海の島々から子供たちが福音丸で集められ、佐木島の須ノ江小学校で夏期キャンプが行われていました。小学生で参加した私は、キャンプファイヤーでの場面を今でも思い出すことが出来ます。海岸の砂浜に用意された燃え盛る火を前にして、チョボひげを生やした土生教会の鈴木正弘牧師がお話しされました。「人生におけるプライマリーオブジェクトは何か？」「それは若き日に汝の造り主を覚えることである」。小学生の私にはプライマリーオブジェクトはよく分からない話でしたが、一生懸命繰り返して話されるのを聞いて大事なことを話しておられることは分かりました。そうか私たちは神様に作られたのか。それなら何も怖がるものはないんだ。思い切っていこう。これが私の人生において力となり支えとなって、多くの良き経験をすることが出来ました。

四造福音丸は1958年から1968年まで就航しまし



た。ディーゼルエンジンでしたが25馬力の小さなものだったので、速度が遅く愛称ドンガメと言われるものでした。中本牧師が福音丸専任牧師として働かれ、「福音丸と私」を残されたのは、この四造福音丸でした。

このころ大学生となっていた私は、向島教会の仲間達といくつかの島をキャラバンで廻ったことは若き日の良き思い出です。

また、スタンレー・マニア宣教師が航行中の船尾から海へ転落されましたが、ドアの異音で小林船長が気

付き、九死に一生を得たのはこの福音丸でした。

数年前、小豆島の西にある豊島（てしま）にある日本基督教団・豊島教会を訪問する機会がありました。豊島教会史の初めに「1907年（明治40年）ビッケル宣教師が福音丸で来島」とありますし、「福音丸と私」にも豊島をはじめ多くの島々についての記述があります。福音丸による瀬戸内海伝道の足跡を見ると、そのご苦労と熱意を思い感謝せずには居れません。

「新しいことをわたしは行う」(イザヤ 43:18-19)

捜真バプテスト教会 小野慈美

「初めからのことを思い出すな。昔のことを思いめぐらすな。見よ、新しいことをわたしは行う。今や、それは芽生えている。あなたたちはそれを悟らないのか。わたしは荒れ野に道を敷き砂漠に大河を流れさせる。」(イザヤ 43:18-19)



＜願望と希望＞

「願望」とは“こうであったら良いのに”という人間の願いであり、叶うこともあれば叶わないこともあります。それに対して聖書の示す「希望」とは、「神様はご自分の約束に真実な方であると信頼すること」です。

バビロン捕囚から数十年が経ち、イスラエルの民は信仰を失いかけていました。彼らは、「**出エジプトのときのように、かつては、神は私たちの先祖たちに偉大なことをなされたが、今はもうだめだ。あの頃は良かったが、私たちは見捨てられた**」という態度で「昔のこと」をなつかしんでいたのです。そのような民に預言者は告げます。

“過去の栄光にしがみつくのをやめなさい。昔のことを語る事が悪いのではない。あの時、あの所で、あの状況にふさわしいしかたで、神は大きな救いのわざをなしてください。その神は今も生きておられ、今、ここでも「新しいこと」をしようとしておられる。ヤハウェの神は、過去の神なのではなく、今も生きておられる神なのだ”。

神のお約束は信頼に足るものです。「もうだめだ」と思うようなところから、神の新しいみわざが始まります。



＜個人的な証し＞

私の父、小野一良牧師は、戦後、川崎で教会を復興し、幼稚園を併設しました。その伝道が軌道に乗ってきた1951年秋に、戦後最初の福音丸牧師としての招聘を受けました。島々を巡り、信仰者が起こされました。私は、その時期の1953年1月に因島の土生で生まれました。翌年は、向島で過ごしました。

その後、土地の名前も知らなかったであろう潮来(いたこ)に遣わされ、1955年4月から幼稚園と教会を通して伝道を始めました。当初は、幼児教育、そして、教会学校に力を入れました。特にキャンプを通して多くの青年たちが信仰に導かれました。その実りの一人が、藤岡壮一先生です。更に、1970年代に、「新しいこと」が起こりました。隣町の鹿島に製鉄所ができ、関西、九州から多くの人たちが鹿島や潮来に移り住んできたのです。そこで、一良牧師は、家庭集会に力を入れ、多い時には、12か所の教会員の家で集会をし、その集会を通して、多くのご家族が信仰に導かれました。大里英二先生、久保親哉先生は、その家庭集会伝道の実りです。

1988年に一良牧師が脳梗塞で倒れました。当時アメリカに留学中であった私に、「一時的に帰国して教会と幼稚園の責任を担ってほしい」という依頼がありました。私としては全く予定していなかったのですが、その後、正式に招聘を受け、潮来教会の牧師、潮来幼稚園の理事長・園長になりました。教会の歩みは安定していましたが、幼稚園を取り巻く環境は厳しくなっていました。ただでさえ子どもの減っていく潮来市で、園舎が老朽化した潮来幼稚園の園児数はどんどん減少していきました。2011年の東日本大震災の時は、園舎は守られましたが、この園舎で保育を続けることはできないと判断し、閉園を考えました。しかし、そのとき、「幼稚園を認定こども園にするのであれば、新園舎建築に多額の公的援助が得られる」とい



う「新しいこと」が起こりました。私自身は、全く乗り気ではなかったのですが、周囲から背中を押されて不慣れた園舎建築の事業へと導かれました。思いがけない方々が、絶妙のタイミングで助けてくださり、2013年3月に新園舎が完成しました。その間に捜真バプテスト教会から受けた招聘を神様の御心と受け止め、竣工式を終えてすぐに横浜に移りました。

＜新しいこと＞

日本バプテスト同盟は、会員数も礼拝出席者数も減少しており、この傾向は今後も続くことでしょう。数字だけを見ると悲観的になり、右肩上がりになってほしいという「願望」を持ちます。しかし、神は単なる数字の回復ということとは別の全く「新しいこと」をなそうとしておられるのかもしれませんが。

ある伝道の成功例をまねて、それを現状打開の方策として実施しても、うまくいくとは限りません。なぜなら、その成功例と私たちが置かれているコンテキスト（状況）が違うからです。賜物が違うからです。しかも「成功するとは、こういうことだ」と、私たちが決めてしまっていることが少なくありません。しかし、神は、「新しいこと」をなそうとしておられるのです。それは、劇的なこととは限りません。神は静かに長い時間をかけて新しいことをなさることもあるのです。

私たちの置かれている状況は、荒れ野や砂漠のよう

に見えます。そこに、人間の力だけで道を切り開こうとしても、それが「願望」である限り、実現しないでしょう。しかし、神ご自身が働いてくださるのであれば、「えっ？ここに道を敷かれるのですか？」ということが起こってきます。

＜天命を信じて人事を尽くす＞

「何事でも神の御心に適うことをわたしたちが願うなら、神は聞き入れてくださる」(Iヨハネ5:14)。「人事を尽くして天命を待つ」という格言があります。できる限りのことをして、結果は天の意思に任せるといことです。しかし、「人事を尽くす」前に、人間自らが計画をするというニュアンスを感じます。そこで、私は「天命を信じて人事を尽くす」と言い換えたいと思います。神様は神様のタイミングで神様の御業をなさってください。だから、まず静かに祈り、御心を聞きましょう。そして、御心と信じたならば、与えられた状況の中で、できることを丁寧に愛をこめて行い、結果は神様にお委ねする。短期的には何も起こらず、神様の「新しいこと」の意味が分かるのは、もしかしたら数十年後かもしれません。しかし、主なる神は生きておられ、お約束に真実なお方です。神様に信頼し、聖霊の導きをいただきながら、今できることをしていきたいと思うのです。

福音丸新報 100号をお祝いし賛美しましょう

山下バプテスト教会牧師 藤井勇次

福音丸新報 100号をお迎えになりましたことを心よりお祝い申し上げます。福音丸新報では、毎回美しき瀬戸内海の島々の人達への伝道の様子が掲載されてきました。私も1994年4月に広島開拓伝道に着任しましてから12年間、毎年、開拓伝道の様子を福音丸新報に書かせて頂いたのを思い出します。



日本バプテスト同盟の全国の兄弟姉妹の祈りと決断によって広島開拓伝道が始められ、内海部会諸教会の兄弟姉妹の協力と、スウェーデンバプテストとアメリカンバプテストの兄弟姉妹の祈りと派遣された宣教師の先生方のお働きによって広島開拓伝道は進められて行き、教会設立がなされて今日に至っています(現広島平和キリスト教会)。

広島伝道所は、教会員数が30名になり日曜礼拝と火曜礼拝の出席者が24名を超えた2004年3月20

日に31教会・伝道所・団体から80名の方々が集って下さって教会設立会議が開催されました。その時の教会設立感謝礼拝で出席者全員で聖歌229番 Amazing grace おどろくばかりのめぐみなりき このみのけがれをしれるわれに〜と歌っていたとき、後からあとから涙が溢れてきて止まらなくなりました。何の力も知恵も、その伝道の術も知らないこんな小さな者を、主がここまで助け導いて下さって多くの方々をお救い下さったと思った時、胸は感謝でいっぱいになり涙は止まらない滝のようになってしまったのです。教会の建物を建てる場所を探して広島の色々な所を歩き回り、足が棒のようになってしまって歩けなくなって座り込んだところに全国の兄弟姉妹の祈りが聞こえてきて癒されて立ち上がって現在の土地が与えられたこと。教会学校を初めて開いて始めて礼拝を行ったとき、小学1年と4年の娘と息子の友だちが10人程来てくれて、礼拝とは何か全く知らない子供たちが、最後に祝祷をして目を開けると、子供の全員が私と同じように両手を高く上げていたこと。6月に教会の建物が出来て、そこで礼拝を行うようになって、その年の12月に最初のバプテストマ式を行った時も泣いたこ



994年6月26日 伝道所開所式・就任式



1994年2月4日 教会建築起工式

と。それから18名のバプテスマ式をさせて頂いたこと等を思い出して、Amazing grace おどろくばかりの主の恵みを覚えて、泣けて、泣けて仕方がなかったのです。

ヘブライ人への手紙13章15節には「だから、イエスを通して賛美のいけにえ、すなわち御名をたたえる唇の実を、絶えず神に献げましょう」（新共同訳）とされています。神様の御名を褒め称えることは賛美のいけにえであるということです。神様の御臨在に預かるためには、旧約に於いては必ず動物のいけにえが捧げられました。しかし、イエス・キリストの十字架の贖いを信じて救われた私たちは、キリストの十字架の死によって動物のいけにえは必要ありません。しかし、神様の御名を褒め称える賛美のいけにえは献げられなければならないということです。

では、何故、神様の御名を褒め称える賛美はいけにえなのか。賛美するというヘブル語、ギリシャ語には「告白する、告げる」という意味があります。賛美に於いて自らの信仰を告白するのです。ですから、当時、迫害者の前で神様の御名を褒め称えること、その信仰を告白することは、自らの死を意味する命がけのことでした。ですから主を賛美することは、自らをいけにえとして神様に献げることの意味しましたから、賛美のいけにえをささげましょうとされているのです。

また、15節の「唇の実」はギリシャ語ではカルポスという言葉が使われていますが、この言葉には「果実、産物、収穫、作り出すもの」といった意味があります。これは他の新約聖書には見られないヘブライ人への手紙の独特な表現となっています。ここで、この手紙の著者が「唇の実」と言う言葉をわざわざ使ったとき、そこには旧約聖書のイザヤ書やホセア書の「唇の実」という言葉が思い起こされていたことが考えられます。例えばホセア書14章2節では「**私たちは唇の実を献げます**」（聖書協会共同訳）と訳されています。この「実」という言葉は、ヘブル語では「ペ

リイ」という言葉が使われていますが、この言葉の意味は広く「実、果物、産物、胎の実、生まれるもの、子ども、子孫、報い」と言った意味があります。

ここから分かりますように、ホセア書を知っていたであろうヘブライ人への手紙を書いた著者は、唇の実というギリシャ語カルポスにヘブル語のペリイの意味を重ねて「自分の胎の実、生まれるもの、子ども、子孫」といった意味を持たせていたのではないかということが考えられます。つまり「御名をたたえる唇の実」とは、ただ口先だけのものではない。自分の体内から生み出された子供のように、それは命を持ち、成長し、自分の子供から子孫へと繋がっていく、そのような生きた命ある賛美として、人から人へと繋がり、聞いた人に命を与え、それがさらに成長して、その人の子ども、子孫として、さらに命を持って広がっていく。そのような賛美として語られているということが言えるのです。それは、人間の命、血液が繋がっていくのではない、賛美の中に住まい給う（新改訳/詩編22編3節）聖霊なる神様が、そこにお働き下さって聞いたものに新しい命を産み出して下さるということです。そのような、イエス様を通して賛美のいけにえ、御名をたたえる唇の実を、絶えず神様に献げましょうと呼び掛けられているのです。

キリストのお救いを受け入れた者は、告白する者、賛美する者に変えられます。そして、その献げた賛美の中に住まい給う聖霊なる神様がそこにお働き下さって、聞いたものに新しい命（キリストを信じて生きる命）を産み出して下さいます。

ですから、私たちは、福音丸新報100号を御祝いしてAmazing grace おどろくばかりの主の恵みを賛美しましょう。イエス様を通して信仰の告白、賛美のいけにえ、すなわち御名をたたえる唇の実（カルポス）を絶えず神様に献げて、福音が更に広く多くの方々に届けられ、更に多くの魂が救われるように祈ってまいりましょう。

教会短信

【小豆島バプテスト教会】

教会が無牧になり、井上正之牧師が代務者となって



下さってから13年になります。井上先生のご指導を受け、多くの方々の支援のもと、教会が存続している事を感謝しております。現在の会員数は8名ですが、日々の礼拝は7名程で守っております。中に3歳になったばかりのお嬢さんが奉獻のお手伝いをするなど、いつも和やかな雰囲気を醸し出してくれます。先日、高齢になって施設に入所した姉妹を見舞い、みんなで賛美歌を歌って楽しいひと時を過ごしました。

○礼拝について

日の本教会の井上牧師の対面による主日礼拝、5月、6月、7月、9月、10月、11月、3月(予定)でした。その他は井上牧師が送って下さる録音説教、又、藤井勇二牧師の録音テープによる説教で礼拝をしております。

○合同礼拝について

日本キリスト教団内海教会の皆さんと豊島教会牧師であられる福田哲牧師の説教による合同礼拝を行っています。

- 3月30日 イースター礼拝 於：小豆島教会
- 8月10日 主日礼拝 於：小豆島教会
- 12月21日 クリスマス礼拝 於：内海教会
- 1月4日 新年礼拝 於：小豆島教会
- 2月1日 主日礼拝 於：内海教会

○行事について

召天者記念礼拝，世界バプテスト連盟女性会の祈祷日参加，内海部会女性会問安に参加しました。そして今、左記の今年度の目標にそって歩んでいます。

主題：主にある希望
聖句：恵み深い主に感謝せよ。慈しみはとこしえに (詩編 107:1)

(庫本由美子)

【向島キリスト教会】

向島教会の牧師として8年間導いて下さった大谷孝志先生が2025年3月末で退任，綿谷剛兄を4月からの代表役員代務者として選任しました。

ダビデ園の卒園生である松本宏樹兄が，教会に戻り2022年に救われ教会員となりましたが，2025年1月に自宅でてんかん発作で孤独死，1か月後に発見されたことはとても悲しい出来事でした。私たちも気づくことができなかったことが大変悔やまれますが，安らかに主の元に召されたことを感謝します。また，6月には溝淵尚子姉の夫である裕さんが若くして逝去され告別式を持ちました。

教会学校では，3月に春の遠足で渋川動物園へ，また，5月にはたこやきパーティー，9月には中島集会所の夕礼拝に参加，奉仕しました。

無牧師の中の礼拝は，毎月第1週は大谷師に説教と主の晩餐式の司式をお願いし，第3週は信徒がメッセージを担当，第2週と第4週は，内海部会のクップ師，石塚師，中川師が向島教会のために録画して下さった説教動画を視聴しています。また，神学校から提供頂いた礼拝動画を視聴する他，瀬戸田(安下庄)の中川師，講壇交換で門真の金井師，インドからキンサイ師，韓国から林景峻師が礼拝奉仕をして下さり，助けていただいています。

9月には神学校後援会から塚田兄，新井兄がアピールに来られました。

クリスマスは今年はチェロ・アンサンブル「ちゃっ

こーな」の四重奏によるコンサートを行い，近隣の方々が多く集まって下さり，温かく重厚な音色に癒されました。



また，クリスマス祝会では，コロナ以降，久しぶりに一品持ち寄りによる愛餐会を行い，たくさんの出し物やプレゼント交換で楽しみました。

牧師招聘は，同盟内も無牧師が増えつつあり，動ける先生がいらっしゃらないとのことで，OCC無牧ミニストリーズという超教派の働きに登録し，何人もの外部の先生方に働きかけを行いました。この原稿の時点ではまだ正式決定ではありませんが，近日，良い知らせを報告できそうです。

(綿谷 剛)



【土生バプテスト教会・重井集会所】

- 4月13日(日)イースター礼拝，墓前礼拝
- 5月18日(日)土生教会総会
- 5月18日(日)田熊学園 元田熊幼稚園 園舎解体工事
- 6月1日 重井幼稚園休園 (3月24日理事会)
- 8月3日(日)平和礼拝
- 8月18日(月)関東学院大学六浦中・高校生ボランティア活動 (田熊認定こども園)
- 10月4日 (土) 田熊認定こども園 運動会 (雨天のため田熊公民館)
- 10月12日(日) 関西部会との交換講壇 講師，丸茂誠牧師，関東学院六浦中学校・高等学

校，立教大学，立教大学大学院，日本バプテスト神学校を経て，2013年に曾根キリスト教会伝道師就任。2015年按手礼。現在，曾根キリスト教会牧師，同教会付帯事業ひかり保育園理事長

- 12月6日 (土) 発表会 (0・一紅組休園)
- 12月18日(木) 田熊こども園クリスマス礼拝
- 12月25日(木) 小学生クリスマス会

2025年度召天者

- 岡野宏二兄：2025年1月26日召天
 - 小林美津子姉：8月6日召天 (103才)
 - 村上清明兄：11月16日召天 (家族葬)
- (林原弘)

【瀬戸田バプテスト教会】

2025年4月から12月までの教会の歩みを分かち合います。



2025年5月6日、中川純良師が按手礼を受け、牧師としての歩みを始められました。教会として按手礼会議を開催するのは実に久しぶりとの

こと、関係して下さった諸先生方には、本当に多くのご指導をいただきました。みなさまのお祈りと励ましを受け、中川純良牧師をはじめ、教会員一同、心が整えられ、恵みの時をいただきましたことを感謝しています。

毎年のことですが、イースター、収穫感謝、クリスマスの礼拝は、瀬戸田では、やさしい神さまのへや



原：収穫感謝

(C.S.) と合同

でささげます。階段の上り下りが大変な方々もいるので、昨年度のクリスマス礼拝より、保育室とつながっている礼拝室で行うようになりました。普段から毎週楽しみに来てくれるこどもたちをはじめ、久しぶりに来る卒園児もいて、懐かしく賑やかな礼拝になり、私たち大人もとても励まされる時間です。また、原集会所、中島集会所でも、これらの礼拝をそれぞれささげています。今年は、アドベント第4の主日は、瀬戸田でのクリスマス合同礼拝と24日のキャンドルライトサービスから始まり、クリスマス節に入ってから、25日は博愛幼稚園のクリスマス礼拝・聖誕劇、26日は、原集会所でのクリスマスの集い、そして、28日には、中島夕礼拝でクリスマス礼拝をささげました。アドベントからクリスマス節、そして公現日にいたるまで、ずっと主イエスさまの御降誕を意識しながら歩むことができ感謝でした。

今年度は、教会に新しく来られるようになった方もいます。また、昨年秋から、施設から外出許可を得て、ほとんど毎週来られる方もご健在で、2、3名の礼拝が少なくなり、4、5名でささげることが多くなりました。それは、私たちにとっては、とても大きく励ましとなる変化です。中島集会所は、月に2回の訪問ではありますが、そのことは地域の方々にも浸透していて、お声がけ下さる方も年ごとに多くなりました。9月には、向島キリスト教会から5人も応援伝道に駆けつけてくださり、二人の青年は、自作の紙芝居で子供メッセージをされ、5人の特別賛美も力強く、本当に楽しく恵まれた礼拝となりました。今年のクリ



瀬戸田：クリスマス礼拝



中島：クリスマス礼拝

スマス礼拝も島の音楽家・舞踏家のご夫妻とご友人が奏楽を引き受けてくださり、また、その3人のご友人や家族も集い、子どもと大人と合わせて15名がクリスマス礼拝を一緒にささげることができました。小さな集会所がいっぱいになりました。

神さまがご準備して下さる様々な祝福を大切に感じながら、2026年も歩みを進めていきたいです。

(石塚多美子)

安下庄集会

日頃から安下庄集会の礼拝維持・継続のためにお祈りくださりありがとうございます。2025年は2度の休止を除いて毎週の礼拝を守ることができました。現在、会員は2名ですが、他教派の方々が継続して出席してくださっています。ホーリネス系、米国のオーソドックスな教会、日キ教団、正教会、ルーテル教会と、多岐にわたるため、エキュメニカルな礼拝の試みとして発表された「リマ式文」の要素を多分に取り入れた礼拝式次第を、8月半ばから取り入れました。願わくは、安下庄集会に新たな会員が与えられるよう祈りにお覚えください。

(中川純良)



【広島平和キリスト教会】

主の御名を心からほめたたえます。

広島教会では、今年度も主の豊かな導きのうちに礼拝を守り、あらゆる場面で喜びに満たされた一年を過ごすことができました。礼拝では英語の賛美を一曲加えたことで、より活気ある時間となりました。

子どものスポーツの都合で約2年間礼拝に参加できなかったご家族が再び戻って来られ、またミャンマーからのクリスチャン技能実習生の方々も礼拝に加わってくださり、出席者が増えて大きな励ましとなりました。時折、彼らが特別賛美をしてくださることもあり、礼拝はさらに賑やかで恵みに満ちたものとなりました。毎週ではありませんが、近所の子どもたちとその保護者の方も礼拝に参加して下さっています。

教会墓地については、これまで狭く危険で行きにくい場所にありましたが、主の助けにより、教会の近くで訪れやすい場所へ移転することができました。また、施設に入所している教会員の方々への訪問も、2カ月に1度続けています。

教会で4回バザーを開催し、その売上げをミャンマーおよびフィリピンの地震や洪水の被害者支援のために送りました。

8月には猪名川キャンプで行われた同盟ユースキャ

ンプに、中学生2名が部会の補助を受けて参加することができました。CSの夏の楽しみ会では、焼肉や流しそうめんを囲み、子どもも大人も共に楽しいひとときを過ごしました。11月にはリンゴと柿狩りに出かけ、その後は遊園地で遊び、特に子どもたちが大喜びでした。

今年のクリスマス礼拝・祝会には、礼拝堂いっぱいの60名が集まり、日本料理・フィリピン料理・ミャンマー料理を囲みながら、主イエスのご降誕を心からお祝いすることができました。11月に予定していた教会コンサートは延期となり、1月11日に開催することになりました。

また、12月28日には千葉で働いておられる一人の姉妹が、「新しい年をイエス様と共に歩みたい」と願い、聖書を学んだのちバプテスマを受けられました。教会だけでなく、天においても大きな喜びがあったことでしょう。



来年からは牧師一家が転任となります。どうか、新しい牧師が主から豊かに備えられますようにお祈りください。

皆さまお一人おひとりの上に、主の豊かな祝福がありますように。
(タウン・カン・カップ)



内海で生まれた讃美

今回紹介する讃美は、同盟及び内海部会の2025年度の主題聖句(ローマ 12:1b)に作曲したもので、教会音楽委員会の募集にも応募した作品です。今年度はたくさんのお応募があったようでとても嬉しく思います。

内海で生まれたこれらの賛美もぜひ、歌っていただけたら幸いです。(綿谷 剛)



内海部会関係歴年表(1999年以降)

1999年12月に内海部会から瀬戸内海伝道百周年記念誌「島々に遣わす」が発行されてから、早や26年

が経ちました。福音丸新報第100号の機会にそれ以降の内海部会の活動の履歴をまとめました。

全体組織名	地区組織名	年 月 日	主 要 事 項	部会長	教師																								
					小豆島	向島	土生・重井	瀬戸田	安下庄	広島平和																			
日本バプテスト同盟	内海部会	1999 4 29	内海部会総会 於：瀬戸田	南沢満雄	左農貞子	南沢満雄	林原弘	白井嘉男	岡野喬木	藤井勇二	ヨードス・アンデルソン宣教師																		
		5 21-22	内海部会婦人修養会 於：広島平和 講師：沢野寛師(高槻教会)「主とそのみ力を信じよ」																										
		6 22-24	第42回日本バプテスト同盟総会をオリビアン小豆島において開催																										
		23	瀬戸内海伝道百周年記念祝典をオリビアン小豆島において開催																										
		11 3	内海部会修養会於：向島 講師：長谷川温雄師、岩村繁師 「内海部会宣教第二世紀の展望」																										
		2000 4 29	内海部会総会 於：向島									南沢満雄・土平正治	角野祐三	無牧師															
		5 27	内海部会女性会総会・修養会 於：向島キリスト教会 講師：植竹侑師(広島キリスト教会)「主は道を開かれる」																										
		11 3	内海部会修養会 於：向島キリスト教会 講師：沼尻享宣教室長「教会成長と信徒の役割」																										
		2001 3 11	内海部会青年会総会																										
		3 24	芸予地震 大三島、安下庄被災																										
		4 29	内海部会総会 於：三原市市民福祉会館																										
		4 29	原伝道所 集会所に改称																										
		5 26	内海部会女性会総会・研修会 於：向島 講師：福元玲子師(KBI)「信仰・希望・愛」																										
		8 14-16	第十七回全国青年の集い 於：瀬戸田																										
		11 23	内海部会修養会 於：土生 講師：柴田宏師(奈良佐保)「主に従う」																										
		12	大三島芸予地震で罹災した牧師館の解体																										
		2002 4 29	内海部会総会 於：三原市サンシープラザ																		田村義明								
		5 11	女性会総会 於：瀬戸田 講師：小宮山賜夫師(アライアンス呉)「苦難と感謝」																										
		8 10-25	神学生実習 田島神学生																										
		9 13-15	神学校研修旅行 & 関東部会中高生ミッションキャラバン来訪																										
		11 4	内海部会修養会 於：三原サンシープラザ 岡部元英師「高齢化社会を迎えて」																										
		2003 3 23	内海部会青年会総会 於：向島																										
		4 29	内海部会総会 於：三原市サンシープラザ																										
		5 25	角野祐三師就任式 於：瀬戸田																										
		11 3	内海部会修養会 於：瀬戸田 講師：東間千鶴子氏(捜真幼稚園)「育ててくださる神」																										
		2004 3 20	広島平和キリスト教会設立																										
		4 5	内海部会総会 於：三原市サンシープラザ																										
		5 15	内海部会女性会修養会 於：小豆島 講師：川人妙子師(鼓が滝)「アブラハムの信仰に聞く」																										
		2005 1	神学校内海講座 講師：加納政弘師																										
		4 29	内海部会総会 於：三原市サンシープラザ																										
		5 21	内海部会女性会修養会総会 於：小豆島 講師山本美智子師(運河)「マルコによる福音書の女性たち」																										
		6 6	米国教師部会教師会交流会 於：小豆島																										
		7 29	関東学院六浦中高生ボランティアキャラバン																										
		11 3	内海部会修養会 於：瀬戸田 講師：岩村繁師「信仰の継承」																										
		11 11-	神学校研修旅行																										
		2006 1 9-10	神学校内海講座 講師：加納政弘師																										
		4 29	内海部会総会 於：三原市サンシープラザ																										
		5 28	田村義明師就任式 於：広島																										
		6 10	内海部会女性会総会・修養会 於：土生 講師：ブレドモア師「死についての黙想」																										
		10 24-25	スウェーデンバプテスト交流会																										
11 3	内海部会修養会 於：広島 講師：小澤竹俊氏「苦しみの中の福音/弱さ・無力の持つ確かな力」																												
2007 4 29	内海部会総会 於：三原市サンシープラザ																												
5 19	女性会総会・修養会 於：土生 講師：田村義明師「心から神をほめたたえよう」																												
10 14	女性会安下庄問安																												
11 3	内海部会修養会 於：三原市サンシープラザ 講師：河正子師「慰めもまた/理解を越えた神の備え」																												
2008 2 23	神学校内海地区講座 於：土生 講師：加納政弘師																												
4 29	内海部会総会 於：三原市サンシープラザ																												
5 17	女性会総会・修養会 於：広島平和キリスト教会 講師：大矢直人師「献身」																												
11 3	内海部会修養会 於：土生バプテスト教会 講師：角谷晋次師「三愛、神を愛し、人を愛し、土を愛する」																												
2009 1 24	神学校内海地区講座 於：瀬戸田 「バプテストの歴史に学ぶ」																												
4 29	内海部会総会 於：三原市サンシープラザ																												
5 23	女性会総会・修養会 於：広島																												
6 28	内海部会講壇交換																												
10 18	女性会中島問安																												
11 3	内海部会修養会 於：小豆島 講師：益蔵師「主イエスに出会う、人に出会う」																												
2010 1 11	新年合同礼拝																												
2 11-13	全国信徒会 於：福山鞆の浦 講師：森本二郎氏(写真家)「新しい生命に生きる」(福音丸伝道と、これからの宣教)																												

全体組織名	地区組織名	年 月 日	主 要 事 項	教 師						
				部会長	小豆島	向島	土生・重井	瀬戸田	安下庄	広島平和
日本バプテスト同盟	内海部会	2010 4 29	内海部会総会 於：三原市サンシープラザ	田村義明	左農貞子	トウ・ン・カン・クッ	林原弘	無牧師	無牧師	田村義明
		5 15	女性会総会・修養会 於：向島 講師：井上恵子師「お話が生きる力を育てる」							
		7 4	トゥン・カン・クッ師 就任式 於：向島							
		7 25-26	内海部会ファミリーキャンプ 於：御調グリーンランド							
		8 29	内海部会講壇交換							
		9 5	向島教会 規則改訂にて「基督教向島教会」から「日本バプテスト同盟向島キリスト教会」に改名							
		11 3-4	内海部会修養会 於：安下庄 講師：小野慈美師「因果応報・罪悪感からの解放/憎しみや恨みからの解放」							
		11 14	トゥン・カン・クッ師 按手札 於：向島							
		2011 1 10	新年合同礼拝 於：向島							
		2 19	神学校内海地区講座 於：土生 講師：加納政弘師							
4 29	内海部会総会 於：向島	伊澤岩雄	無牧師	土屋修二	大谷孝志					
5 14	女性会総会・修養会 於：向島 講師：川人妙子師「弱さを友に生きる」									
6 27	日本バプテスト連盟中四国連合（広島）と同盟（内海部会）の合同教師会 於：広島									
7 24-25	内海部会ファミリーキャンプ 於：御調グリーンランド「愛されているわたしたち、今」									
9 18	女性会 中島集会所問安									
9 30	内海部会講壇交換									
10 10	日本バプテスト連盟中四国連合牧師会が向島教会、重井教会訪問									
11 3	内海部会修養会 於：瀬戸田 講師：藤井勇次師「生ける神との交わりに生きる」									
2012 1 9	新年合同礼拝 於：小豆島									
4 29	大谷孝志師就任式 於：広島									
4 30	内海部会総会 於：向島									
5 12	女性会総会・修養会 於：瀬戸田 講師：東間千鶴子師「霊に燃やされて、主に仕えよう」									
8 5-6	内海部会ファミリーキャンプ 於：御調グリーンランド「愛に根差し、愛に立つ」									
10 8	日本バプテスト連盟中四国連合（広島）と同盟（内海部会）の合同教師会 於：広島									
11 23	内海部会修養会 於：瀬戸田 講師：岸義紘師「日本のリバイバルは可能か」									
2013 1 14	新年合同礼拝 於：瀬戸田	無牧師	土屋修二	大谷孝志						
1 30	内海部会講壇交換									
4 22	内海部会総会 於：三原市サンシープラザ									
5 11	女性会総会・修養会 於：瀬戸田 講師：石塚多美子師「キリストの証人として」									
7 28-29	ファミリーキャンプ 於：三滝青少年自然の家「イエス様につながるう」									
9 29	内海部会講壇交換									
11 3-4	修養会 於：弓削島フェスバ 講師：木村誠甫兄「CS・幼稚園の教材利用方法/子どもたちが耳を傾ける話し方」									
2014 1 13	新年合同礼拝 於：向島									
2 11	向島キリスト教会 新会堂献堂式									
4 1	尾道市立田熊保育所が民営化により田熊学園に移管									
4 29	内海部会総会 於：向島									
5 10	女性会総会・修養会 於：瀬戸田 講師：長谷川温雄師「高齢期の人々への霊的ケア」									
6 29	内海部会講壇交換									
7 27-28	ファミリーキャンプ 於：三滝青少年自然の家「みんなでひとつ」									
8 20	集中豪雨による土砂災害で広島平和教会の地域が被災									
9 23	役員研修会 於：向島 講師：大矢和男師「教会運営に対する信徒の役割について」									
11 3	秋の修養会 於：向島 講師：松平季子師「教会音楽を考える」									
2015 1 12	新年合同礼拝 於：向島	閉鎖								
2 14	仲栄子師 召天									
3 29	教師会家族会 於：宮島									
4 29	内海部会総会 於：向島									
4 -	原伝道所の閉鎖									
5 9	女性会総会・修養会 於：広島 講師：井上正之師「聖書におけるコミュニケーション」									
5 31	内海部会講壇交換									
7 20	夏のレクリエーション バーベキュー大会 於：広島中央森林公園									
9 22	信徒役員研修会 於：向島 講師：大関敏明師(土生教会)「日本における宣教の課題」									
11 3	秋の修養会 於：向島 講師：森泰子姉(高槻教会)「みんなで考えるエンディング・ノート」									
2016 1 11	新年合同礼拝 於：向島 研修会：講師：クッ師「ミャンマーの教会事情」	閉鎖								
4 29	内海部会総会 於：向島									
5 14	女性会総会 於：広島									
8 1-23	福島子ども支援 島遊び 8/1-3, 6-8, 19-23									
8 11	教会役員研修会 於：向島 講師：綿谷剛兄「教会運営における牧師と信徒の役割に関して」									
9 16-19	モリゴー・フォー内海部会演奏旅行									
10 16	内海部会講壇交換									
11 23	秋の修養会 於：向島 講師：森本二郎兄(写真家)「神のいつくしみは人にも、野の花にも」									
2017 1 11	新年合同礼拝 於：向島 講師：伊澤岩雄兄「高齢化社会と少子化社会における教会の生きる道」									

全体組織名	地区組織名	年 月 日	主 要 事 項	部会長	教師																					
					小豆島	向島	土生・重井	瀬戸田	安下庄	広島平和																
日本バプテスト同盟	内海部会	2017 4 2	トゥン・カン・クップ師就任式 於：広島	伊澤岩雄	無牧師	大谷孝志	林原弘	石塚多美子	トウ	ン・	カ	ン・	ク	ッ	プ											
		4 29	内海部会総会 於：向島																							
		4 -	原集会所 祈祷会、礼拝等集会を再開																							
		5 11	ルカ・ビッケル船長召天100周年記念（関西部会主催）																							
		5 13	女性会総会・修養会 於：向島 講師：渡辺さゆり師「ここに愛がある」																							
		5 28	大谷孝志牧師就任式 於：向島																							
		6 13	石塚多美子牧師就任式 於：瀬戸田																							
		9 17	夏期レクリエーションバーベキュー大会 於：広島中央森林公園																							
		10 26	内海部会講壇交換																							
		11 23-25	全国信徒会 於：KKRホテル広島（関西部会担当）参加者プログラムとして内海部会の教会訪問																							
		2018	1 8													新年合同礼拝 於：向島	石塚多美子	大谷孝志	林原弘	石塚多美子	トウ	ン・	カ	ン・	ク	ッ
	2 18		信徒研修会 於：向島 講師：木村誠甫兄「CS教育の課題・教材の使い方」																							
	3 25-26		女性会 中島集会所問安																							
	4 30		内海部会総会 於：向島																							
	5 12		女性会総会・修養会 於：向島 講師：石塚多美子師																							
	9 17		内海部会バーベキュー大会 於：広島中央森林公園																							
	10 8-9		内海・関西部会合同教師会 於：三原セミナーハウス（佐木島）																							
	10 14		女性会 小豆島教会問安																							
	10 14,21		内海部会講壇交換																							
	8 16-18		神学校研修旅行＆関東部会中高生ミッションキャラバン来訪																							
	11 3		関西部会森のコンサートに参加 於：猪名川研修センター																							
	2019	1 14	新年合同礼拝 於：瀬戸田	石塚多美子	大谷孝志	林原弘	石塚多美子	トウ	ン・	カ	ン・	ク	ッ	プ												
		4 1	田熊保育園は、田熊幼保連携型認定こども園となる。																							
		4 29	内海部会総会 於：向島 内海部会として旧安下庄教会会堂「花咲く郷・祈りの家」のミモザ維持会員となる。																							
		5 11	女性会総会・修養会 於：瀬戸田 講師：吉岡健一師(ミード社会館)「やさしい介護」																							
		6 9	瀬戸田教会 安下庄旧会堂にて礼拝を開始（中川純良兄）																							
		6 30	内海部会講壇交換																							
		9 23	夏期レクリエーション 於：東広島市憩いの森公園（雨のため中止）																							
		11 4	信徒研修会 於：向島 講師：辻学師(広島大学)「新しい聖書の翻訳について」																							
		11 23	教師会による安下庄問安																							
		2020	1 13												新年合同礼拝 於：向島	石塚多美子	大谷孝志	林原弘	石塚多美子	トウ	ン・	カ	ン・	ク	ッ	プ
			2 12												女性会 安下庄集会所問安											
	4 29		瀬戸田教会 大三島「祈りのテラス」完成																							
	7 23		内海部会総会 於：向島（新型コロナ流行により日程変更） 女性会引継ぎ（新型コロナ流行により総会開催できず） 内海で生まれた讃美集！『瀬戸の海から』発行																							
	10 1		内海で生まれた讃美集！『瀬戸の海から』発行																							
	2021	1 11	新年合同礼拝 リモート開催（広島発信）	大谷孝志	大谷孝志	林原弘	石塚多美子	トウ	ン・	カ	ン・	ク	ッ	プ												
		4 29	内海部会総会 於：向島																							
		6 下旬	女性会総会（新型コロナ流行により文書配布のみ）																							
		11 23	賛美と証しと祈りの会「瀬戸の海からリバイバル」開催（リモート）																							
		2022	1 10												新年合同礼拝 リモート開催（瀬戸田発信）											
	4 24	瀬戸田教会 中川純良師を安下庄集会所担当の伝道師として招聘																								
	4 29	内海部会総会 於：向島																								
	5 14	女性会総会（リモート）																								
	9 18	内海部会講壇交換																								
	10 10	秋季レクリエーション 於：広島中央森林公園																								
2023	1 9	新年合同礼拝 リモート開催（向島発信）	大谷孝志	大谷孝志	林原弘	石塚多美子	トウ	ン・	カ	ン・	ク	ッ	プ													
	2 23	信徒研修会 於：向島 講師：藤井理恵師(淀川キリスト教病院)「たましいの安らぎ」																								
	4 16	内海部会総会 於：向島																								
	5 13	女性会総会（リモート）																								
	6 11	内海部会講壇交換																								
	8 19-21	関東学院六浦中高ボランティア 於：瀬戸田、原																								
	9 18	秋のレクリエーション 於：東広島市憩いの森公園																								
11 3	教会学校教師研修会 於：向島 講師：斎藤隆二師(吉備聖約)「若者たちのいるところ」																									
2024	1 8	新年合同礼拝 リモート開催（広島発信）	大谷孝志	大谷孝志	林原弘	石塚多美子	トウ	ン・	カ	ン・	ク	ッ	プ													
	2 23	信徒研修会 於：向島 講師：益巖師「伝道者養成は教会の業」																								
	4 29	内海部会総会 於：向島																								
	5 11	女性会総会 於：向島																								
	6 16	内海部会講壇交換																								
	8 17-18	関東学院六浦中高ボランティア 於：向島、瀬戸田																								
	9 6	神学生研修旅行 篠遠神学生																								
	10 26	女性会 小豆島問安																								
11 4	信徒研修会 於：向島 講師：松田牧人師(利府)「これからの教会を考えよう～地方にある教会の活性化、形成の視点から」																									
2025	1 13	新年合同礼拝 リモート開催（向島発信）	大谷孝志	大谷孝志	林原弘	石塚多美子	トウ	ン・	カ	ン・	ク	ッ	プ													
	4 29	内海部会総会 於：向島																								
	5 6	中川純良師授手礼 於：瀬戸田																								
	8 17-18	関東学院六浦高校生ボランティア 於：向島、田熊																								
	10 12	関西部会・内海部会講壇交換																								
	11 8	女性会 原集会所問安																								
2026	1 12	新年合同礼拝 リモート開催（安下庄発信）	大谷孝志	大谷孝志	林原弘	石塚多美子	トウ	ン・	カ	ン・	ク	ッ	プ													

福音丸伝道継続事業献金感謝

2024年度 献金感謝一覧

団体	教会(内海以外)	教会(内海)	個人	個人
関東学院	野並教会	向島教会	松木美智雄	川原勲三・明子
関東学院六浦小学校	曾根教会	土生教会	臼井嘉男	清水美徳
関東学院六浦中高	日ノ本教会	小豆島教会	松平季子	田辺幹夫
捜真小学校	山下教会	瀬戸田教会	三浦花子	関田明美
捜真女学校中高	大阪神愛教会		荒川貞雄	
厚木幼稚園	帯広伝道所		菅原信義	
	木津教会		長谷川温雄	
	松島教会		丹野真人	
	奈良佐保教会		水川孝子	
	平教会		横瀬実	
6 団体	10 教会	4 教会	15 名	合計：35

内海伝道団会計報告・予算

	項目	2024 予算	2024 決算	2025 予算
収入	1.教会・協力団体	250,000	290,000	250,000
	2.個人	200,000	123,000	200,000
	3.利子収入	12	189	12
	4.前年度繰越金	1,388,475	1,388,475	1,347,547
	収入計	1,838,487	1,801,664	1,717,559
支出	1.諸教会応援費	250,000	250,000	250,000
	2.開拓伝道応援費	100,000	100,000	100,000
	3.研修会費			100,000
	4.福音丸新報発行費	30,000	36,110	27,000
	5.福音丸新報送料他経費	38,000	40,018	40,000
	6.振替手数料	5,000	4,463	5,000
	7.事務費	5,000	3,526	5,000
	8.活動費	50,000	0	20,000
	9.ミモザ会費	20,000	20,000	20,000
	10.讚美集発行費	0	0	0
	11.予備費	1,340,487	0	140,000
		支出計	1,838,487	454,117
	12.次年度繰越金	0	1,347,547	1,010,559
	合計	1,838,487	1,801,664	1,717,559

諸教会応援費は各教会の宣教・教育活動への補助
 開拓応援伝道費は 2023 より中島集会所と安下庄集会の補助

感謝とお願い

瀬戸内海伝道団による福音丸伝道継続事業の為のお祈りと貴重な献金を感謝申し上げます。

コロナ禍以降、各教会への支援として瀬戸内海伝道団より諸教会応援費を定額補助してきましたが、会計予測すると大変厳しい状況であるため、教会からの申請による活動実績に対する補助に戻しました。また、部会主催の研修会の費用を部会会計から伝道団会計からの支出に変更させていただきました。何より、皆様のお祈りとお支えにより、活動できたことを心より感謝申し上げます。

振込用紙を同封致します。今年もご支援のほどをよろしくお願い申し上げます。

瀬戸内海伝道団代表 トゥン・カン・クップ
 ☆献金の送付は、同封の郵便為替用紙または、「瀬戸内海伝道団」口座番号 01340-3-11913 にお問い合わせ致します。

県	教会名	郵便番号	住所	電話	牧師・伝道師
香川	小豆島バプテスト教会	761-4121	小豆郡土庄町淵崎甲 2071-22	0879-62-2053	井上 正之(代)
広島	向島キリスト教会	722-0073	尾道市向島町 16058-22	0848-44-2762	(信徒)綿谷 剛(代)
広島	土生バプテスト教会	722-2323	尾道市因島土生町 1602-1	0845-22-0593	林原 弘
広島	土生バプテスト教会 重井集会所	722-2102	尾道市因島重井町 3055	0845-25-0134	(兼)林原 弘
広島	瀬戸田バプテスト教会	722-2411	尾道市瀬戸田町瀬戸田 378-1	0845-27-0173	石塚 多美子
愛媛	瀬戸田バプテスト教会 中島集会所	791-4501	松山市中島大浦 2107-10		(兼)石塚 多美子
山口	瀬戸田バプテスト教会 安下庄集會				中川 純良
広島	広島平和キリスト教会	731-0101	広島市安佐南区八木 3-5-17-10	082-872-1150	トゥン・カン・クップ